

西脇市内 小・中学校の保護者の皆様へ

西脇市学力向上推進会議だより

平成30年9月
西脇市学力向上推進会議
西脇市教育委員会

西脇市のすべての子どもたちが、自分のことが好きだと胸をはり、夢や希望をもって心豊かに成長してほしいと願い、平成30年度第1回西脇市学力向上推進会議を開催しました。

そこで、子どもたちの生活や学力の現状について調査結果等から検証し、課題についての具体的な対応策について意見を交換しました。その内容についてお知らせします。

子どもたちはこんな気持ちで毎日の生活を送っています。

平成30年度全国学力・学習状況調査の中で、子どもたちの生活や学習状況等に関する調査の結果について、委員のみなさんが注目されたのは次のようなデータでした。

小学6年生	西脇市 (%)	全国 (%)
自分には、よいところがあると思いますか。	80.6	84.0
将来の夢や目標を持っていますか。	83.0	85.1
家で、学校の宿題をしますか。	98.2	97.1
家で、学校の授業の予習・復習をしていますか。	60.0	62.6
家の人と学校での出来事について話をしますか。	77.1	80.5
先生はあなたのよいところを認めてくれていますか。	75.2	85.3

中学3年生	西脇市 (%)	全国 (%)
自分には、よいところがあると思いますか。	76.3	78.8
将来の夢や目標を持っていますか。	64.9	72.4
家で、学校の宿題をしますか。	84.7	91.6
家で、学校の授業の予習・復習をしていますか。	47.8	55.2
家の人と学校での出来事について話をしますか。	76.7	76.0
先生はあなたのよいところを認めてくれていますか。	75.5	82.2

調査結果から見えてくること。

「自分には、よいところがあると思いますか。」という問いに対して「当てはまる」と肯定的に答えた児童生徒の数、また「将来の夢や目標をもっている。」と肯定的に答えた児童生徒の数が、西脇市では全国平均に比べて低いという結果になっています。

自分のことが好きだと思える子ども、夢や目標をもてる子どもを育てていくために、保護者、また学校の教員、そして地域の大人たちは何をすればいいのでしょうか。

<チェックリスト>

保護者としてできることは何かを考えていただく参考に次のようなチェックリストをつくってみました。実践していただければ幸いです。

- 毎日子どものよいところをほめる努力をしている。
- 結果のいかんによらず子どもが努力したことを讃えるように心がけている。
- 子どもは、毎日朝食を食べている。
- 子どもが家庭で勉強を開始する時間を子どもと決めている。
- 子どもが家で勉強する場所を子どもと決めている。
- テレビやビデオを観たり聴いたりする時間などのルールを子どもと決めている。
- ゲームやインターネットなどの使用について、使い方のルールを子どもと決めている。
- 学校での出来事や子どもの友だちのことについて毎日会話している。
- 地域のボランティア活動等に参加するように促し、また参加したことを讃えている。

■ 保護者としてできること

会議では、学校・保護者・教育委員会のそれぞれの役割についても協議しました。PTAを代表して会議に参加をしていただいた委員をはじめ出席者から、保護者にできることとして次のような意見がでました。

- 親も働き方が多様化し多忙化しているので、精一杯で余裕がない。それでも子どもたちと向き合う時間を少しでもつくる。「無理やりにでもつくる」努力をしていくべきだ。
- 親が自分の時間を確保するために子どもにゲームを持たせて、それぞれがばらばらの時間を過ごすことが増えてきているように思う。仮にゲームであっても親子で一緒にするなど、何か親子で一緒にする機会を意図的に増やす努力をしていきたい。
- 子どもがまだ小さい場合は、「5秒」でいいので、毎日子どもの手をにぎって「今日楽しかった？」と問いかける時間を持ちたい。子どもが今日何をしたかなど、もっと自分の子どもに興味や関心を持ち、その気持ちを子どもに伝えたい。
- 学校での勉強の内容が子どもたちの日常生活につながっていることを実感させることができるような「さまざまな体験」を子どもにさせていきたい。
- 勉強は学校任せという考えではなく、親も子どもがどんな問題を解くことを求められているのか知っておくことも必要だ。
- 子どもの話を聞き、行動を観察し、意識的に褒めたい。(意識的に褒めないと褒められない。)
- 子どもの苦手な教科の学習内容について少しでも知る努力をして、その改善のための方法や習慣づけのための支援をしたい。
- 学力調査の結果などに関心を持ち、親としてできることを考えてみたい。(学校に任せきりにせずに。)

■ 西脇市の強み

会議では、委員である西脇工業高校の校長先生が、「西脇市の保護者や地域の協力体制は素晴らしい。PTAや保護者の積極的な関わりの様子には驚かされた。」と話されました。また、「高校生になっても授業で挙手をする生徒がいることに感心した。」とも話されました。

さらに校長先生は、ご自身が体育の授業をされていたころ、毎時間授業を受けた生徒に授業の評価を求められたそうです。「授業は楽しかったか。」「精一杯汗をかけたか。」「今日の課題が理解できたか。」「授業の中で褒められたか。」「新しい発見があったか。」など5項目についてチェックを求め、ご自身の授業改善に努められたそうです。

保護者、学校の教員、地域の大人たちが力を合わせて取り組むことで、子どもたちは無限の力を発揮するのではないかと考えます。

子どもたちの素敵な未来のために、今日からできることを一つでも実行してみたいものです。

<参考> 子ども部屋？リビング？ 勉強はどこですか？

民間の教育研究機関が実施した調査によると、小学校低学年の子どもたちの約8割が勉強はリビングかダイニングでしていました。「親の目の届く場所で勉強」と考える家庭が多いようです。

小学校低学年の頃の子どもたちは、家族に自分を見てほしいという気持ちが強いものです。家族がそばで見守ってくれるリビングやダイニングは、子どもたちに安心感を与えます。その安心感が、学習への意欲や集中力を高めることもあります。(ただし、リビングやダイニングで勉強する場合はテレビやラジオを消すことが必要です。)

宿題や毎日の家庭学習に対して、子どものモチベーションをあげるためには、家族がそばでほめたり教えたりすることも効果的です。

家族と家でいろんなことを話している子どもは、自分の将来のことを早くから考えている割合が高いという研究データもあります。子どもたちの成長にとって、私たち大人の役割は大きなものがあります。